

平成26年度第8回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：平成26年12月8日（月）10時00分～11時05分

場 所：熊本県立大学大会議室

出席：学長 古賀 実  
副学長 津曲 隆  
事務局長 岡本 哲夫  
文学部長 砂野 幸稔  
環境共生学部長 堤 裕昭  
総合管理学部長 黄 在南  
地域連携・研究推進センター長 松添 直隆  
学術情報センター長 半藤 英明  
文学研究科長 鈴木 元  
熊本日日新聞社新聞博物館長 平野 有益  
昭和女子大学大学院特任教授 渡辺 満利子

欠席：熊本県公立高等学校長会会長 宮崎 昭次

事務局：高山事務局次長、元島教務入試課長、安達学生支援課長、福永総務課長、花村企画調整室長、前田地域連携・研究推進センター長、野尻学術情報センター事務長、教務入試課阿蘇品班長、同課西本班長

1 開会（進行：高山次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：古賀学長）

（1）審議事項

① 平成27年度入学者選抜における合格者の決定について

事務局教務入試課から、資料1-1に基づき、「試験は11月30日に実施し、推薦入試145名、農業・林業・水産科推薦入試1名、“くまもと夢実現”推薦入試2名の志願者があり、全員が受験した。審議内容の詳細については、資料1-2に基づき、各学部長及び副学長から説明していただく。」との説明があった。

1) 推薦入試

砂野文学部長から、「日本語日本文学科は、募集人員5名に対し、受験者12名。小論文と面接を実施。上位5名までを合格としたい。英語英米文学科は、募集人員7名に対し、受験者17名。小論文と面接を実施。上位7名までを合格としたい。」との説明があった。

堤環境共生学部長から、「環境資源学科は、募集人員3名に対し、受験者5名。小論文と面接を実施。合格基準に達している上位2名を合格としたい。居住環境学科は、募集人員4名に対し、受験者9名。小論文と面接を実施。上位4名までを合格

としたい。食健康科学科は、募集人員4名に対し、受験者23名。小論文と面接を実施。上位4位と上位5位とで点差がほとんどなく優秀であることから、上位5名までを合格としたい。」との説明があった。

黄総合管理学部長から、「総合管理学科は、募集人員50名に対し、受験者79名。総合問題と面接を実施。上位50名までを合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

## 2) 農業・林業・水産科推薦入試

堤環境共生学部長から、「2名の募集に対し、受験者1名。小論文と面接を実施。合格基準に達している1名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

## 3) “くまもと夢実現”推薦入試

津曲副学長から「募集人員2名以内に対し、2名が受験。小論文と面接を実施。得点が合格基準に達している2名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

## ② 平成27年度授業暦について

事務局教務入試課から、資料2に基づき、「基本的な考え方として、①前後期各15回授業日（試験を含まない）を設定、②一部祝休日（4月29日（水）昭和の日、7月20日（月）海の日、10月12日（月）体育の日）における授業実施、③9月28日（月）後期授業開始、④補講日を原則第4土曜日、試験前複数回実施、4月10月は実施しない、⑤試験期間を15回授業の後に7日間設定。本日この案を承認いただければ、決裁のうえ12月中に学生及び教員に周知する。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

## ③ 教員の採用について

事務局総務課から、資料3-1に基づきこれまでの審査の経緯等について説明があった。続いて、全学資格審査委員会議長である津曲委員より、資料3-2に基づき、「水環境科学の採用予定者は准教授、英語教育の採用予定者は准教授、情報メディアの採用予定者は講師での採用が適当であると全学資格審査委員会において判定した。」との報告があった。

## 1) 水環境科学

堤環境共生学部長から、資料3-3に基づき、「水環境科学採用人事について、公募に対して6名の応募があった。環境共生学部内で選考手続きを進め、2名の候補者を選出し、プレゼンテーション・面接審査を行ったうえ、今回の候補者を選定した。平成27年4月1日付けで准教授として、採用していただきたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

## 2) 英語教育

堤環境共生学部長から、資料3-4に基づき、「英語教育採用人事について、公募に対して14名の応募があった。環境共生学部内で選考手続きを進め、2名の候補者を選出し、模擬授業・面接審査を行ったうえ、今回の候補者を選定した。平成27年4月1日付けで准教授として、採用していただきたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

## 3) 情報メディア

黄総管理学部長から、資料3-5に基づき、「情報メディア採用人事について、公募に対して18名の応募があった。総管理学部内で選考手続きを進め、2名の候補者を選出し、模擬授業・面接審査を行ったうえ、候補者を選定した。平成27年4月1日付けで講師として、採用していただきたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

## ④ 教員の昇任人事について

事務局総務課から、資料4-1に基づき、「環境共生学部長からの推薦に基づく、同学部の准教授3名の教授への昇任、講師・助教各1名の准教授への昇任、助教1名の講師への昇任について、審議いただきたい。」との説明があった。続いて、全学資格審査委員会議長である津曲副学長から、「推薦があった6名について、昇任は適当であると全学資格審査委員会で判定した。」との報告があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

## ⑤ 平成27年度非常勤講師の採用について

事務局教務入試課から、資料5に基づき、「平成27年度の非常勤講師の採用については、まだ人選中のものがあるが、各学部長、研究科長から推薦があった102人、221科目について御審議いただきたい。予定者は名簿のとおりである。今回審議できなかった方については、1月以降の教育研究会議で審議のうえ、採用手続きを行う。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

## (2) 報告事項

### ① 環境系三大学連携協定の締結について

古賀議長から、資料6に基づき、「長崎大学、熊本県立大学及び福岡工業大学とで、環境分野を中心として、教育、研究、地域貢献、産学連携、国際交流等の各方面にわたって広く協力し、社会にその成果を還元し、我が国の学術及び産業の発展と人材の育成に寄与することを目的とするため、平成26年12月4日に長崎大学で協定の締結を行った。」との報告があった。

② 潮谷義子客員教授特別講義の開催について

古賀議長から、資料7に基づき、「平成26年12月22日、潮谷客員教授に、『人生100年時代の暮らしを考える－人権・福祉・医療－』と題して特別講義を行っていただく。」との報告があった。

4 その他

次回日程 平成26年度第9回 1月19日（月）午後1時～ 本部棟2階大会議室

5 閉会